

1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1 or 2 可変
Data Bit	8 or 7 可変
Parity	Odd or Even or None 可変
Data Rate	2400~38400bit per second 可変
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2. Write command

マルチビューワ (SMV-401) が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。
「MENU+CR,LF」を返します。

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「EO+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態

2-2. Command

2-2-1. アラーム関連

2-2-1-1. 「ADOF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

アラーム状態の時に「ALARM」という文字を表示しない設定にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-2. 「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

アラーム状態の時に「ALARM」という文字を表示する設定にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-3. 「ADTnnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time nnn)

アラーム状態の保持時間を設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。
nnnは秒数で設定範囲は【003】～【999】秒です。

2-2-1-4. 「AME+CR,LF」 (Alarm Mode External)

アラームのモードを外部に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-5. 「AMI+CR,LF」 (Alarm Mode Internal)

アラームのモードを内部に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-6. 「APB+CR,LF」 (Alarm Polarity Break)

アラーム入力の極性をブレイクに設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

アラームのモードが外部の場合は、常にメーク設定になります。

2-2-1-7. 「APM+CR,LF」 (Alarm Polarity Make)

アラーム入力の極性をメークに設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-8. 「AROF+CR,LF」 (Alarm Return Off)

アラーム リターンを OFF に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-9. 「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)

アラーム リターンを ON に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-2. ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

2-2-2-1. 「BLB+CR,LF」 (Border Line Black)

分割画面の境界線を黒色に設定します。

2-2-2-2. 「BLG+CR,LF」 (Border Line Gray)

分割画面の境界線を灰色に設定します。

2-2-2-3. 「BLO+CR,LF」 (Border Line Off)

分割画面の境界線を無しに設定します。

2-2-2-4. 「BLW+CR,LF」 (Border Line White)

分割画面の境界線を白色に設定します。

2-2-3. カメラチャンネル選択

2-2-3-1. 「CCAS+CR,LF」 (Change Camera Auto Sequence)

オートシーケンスのカメラ切換えを選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-2. 「CD+CR,LF」 (Change Division screen)

分割画面を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-3. 「CS01+CR,LF」～「CS04+CR,LF」 (Change Single screen ch.1～4)

単画面のチャンネル No. 1～4 を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-4.自動切換え時間設定

2-2-4-1.「CASTDnn+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Division)

分割画面のオートシーケンスの切換え時間を設定します。

nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-2.「CASTMnnnnnnnn+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Mix)

全チャンネルのオートシーケンスの切換え時間を設定します。

nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-3.「CASTSnnnnnnnn+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Single)

単画面のオートシーケンスの切換え時間を設定します。

nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-4.「CASTS01nn+CR,LF」～「CASTS04nn+CR,LF」

(Camera Auto Sequence Time Single ch. 1～4)

単画面のオートシーケンスの切換え時間を個別に設定します。

nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5.コネクタ入力設定

2-2-5-1.「CIA+CR,LF」 (Connector In Alarm)

端子台入力をアラームに設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-5-2.「CIR+CR,LF」 (Connector In Remote)

端子台入力をリモートに設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6.タイトル関連

2-2-6-1.「CT01*****+CR,LF」～「CT04*****+CR,LF」 (Character Title ch.01～04 Set)

各チャンネルのタイトル・キャラクタを設定します。

タイトルの文字長さは10文字なので10文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

*印はキャラクタで別紙のASCII Code表を参照してください。

“■”，“～”，“（”，“）”を設定する場合は以下のASCII Codeを使用してください。

■ # (023H)

～ \$ (024H)

(< (03cH)

) > (03eH)

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-2.「CTDDOF+CR,LF」 (Character Title Display Division screen Off)

分割画面時のタイトル表示をOFFに設定します。

2-2-6-3.「CTDDON+CR,LF」 (Character Title Display Division screen On)

分割画面時のタイトル表示をONに設定します。

2-2-6-4. 「CTDSOF+CR,LF」 (Character Title Display Single screen Off)

単画面時のタイトル表示を OFF に設定します。

2-2-6-5. 「CTDS ON+CR,LF」 (Character Title Display Single screen On)

単画面時のタイトル表示を ON に設定します。

2-2-6-6. 「CTPXnnnnnnnn+CR,LF」 (Character Title Position X 座標)

全ての単画面のタイトル表示位置 X 座標を設定します。

設定範囲は【00】～【22】です。

2-2-6-7. 「CTPX01nn+CR,LF」～「CTPX04nn+CR,LF」

(Character Title Position X 座標 ch.01～ch.04)

単画面のタイトル表示位置 X 座標を個別に設定します。

設定範囲は【00】～【22】です。

2-2-6-8. 「CTPYnnnnnnnn+CR,LF」 (Character Title Position Y 座標)

全ての単画面のタイトル表示位置 Y 座標を設定します。

設定範囲は【02】～【15】です。

2-2-6-9. 「CTPY01nn+CR,LF」～「CTPY04nn+CR,LF」

(Character Title Position Y 座標 ch.01～ch.04)

単画面のタイトル表示位置 Y 座標を個別に設定します。

設定範囲は【02】～【15】です。

2-2-7. 日付,時刻設定

2-2-7-1. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【31】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-2. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【12】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-3. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【00】～【99】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-4. 「TSA+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-5. 「T S H n n+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【23】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-6. 「T S M n n+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-7. 「T S S n n+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

n nは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8.時刻&表示設定

2-2-8-1. 「T S D O F+CR,LF」 (Time Signal Display Off)

時刻表示の設定を【OFF】にします。

2-2-8-2. 「T S D O N+CR,LF」 (Time Signal Display On)

時刻表示の設定を【ON】にします。

2-2-8-3. 「T S D R 1+CR,LF」～「T S D R 8+CR,LF」 (Time Signal Display Range 1～8)

時刻表示のレンジを設定します。

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

2-2-9.分割画面選択

2-2-9-1. 「D S S 2+CR,LF」 (Division Screen Select 2)

分割画面を2分割画面に設定します。

2-2-9-2. 「D S S 4+CR,LF」 (Division Screen Select 4)

分割画面を4分割画面に設定します。

2-2-10.ボタン ロック設定

2-2-10-1. 「L O F+CR,LF」 (Lock Off)

ボタン・ロックを解除します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-10-2. 「LON+CR,LF」 (Lock On)

ボタン・ロックを設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-11.OSD 表示位置微調整

2-2-11-1. 「OOH 0 0+CR,LF」～「OOH 1 5+CR,LF」 (OSD Offset Horizontal 00～15)

OSD 表示の水平方向の微調整をします。

2-2-11-2. 「OOV 0 0+CR,LF」～「OOV 1 5+CR,LF」 (OSD Offset Vertical 00～15)

OSD 表示の垂直方向の微調整をします。

2-2-12.電源投入時画面設定

2-2-12-1. 「POSCAS+CR,LF」 (Power On Screen Camera Auto Sequence)

電源投入時の画面を自動切換えに設定します。

2-2-12-2. 「POSD+CR,LF」 (Power On Screen Division)

電源投入時の画面を分割画面に設定します。

2-2-12-3. 「POSS 0 1+CR,LF」～「POSS 0 4+CR,LF」 (Power On Screen Single ch.01～04)

電源投入時の画面を単画面に設定します。

2-2-13. 分割画面ランダム配置

2-2-13-1 「SPD 2 n n n n+CR,LF」 (Screen Placement Division Div.2)

2 分割画面に任意のチャンネルを配置します。

n n はチャンネルで【0 1】～【0 4】です。

2-2-14.ビデオ・ロス

2-2-14-1. 「VLO 1 OF+CR,LF」～「VLO 4 OF+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～04 Off)

ビデオ ロスの検出設定を【OFF】にします。

2-2-14-2. 「VLO 1 ON+CR,LF」～「VLO 4 ON+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～04 On)

ビデオ ロスの検出設定を【ON】にします。

2-2-14-3. 「VLO o o o o+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～04)

ビデオ ロスの検出設定を一斉にします。

o は、「F」が【OFF】，「N」が【ON】です。

2-2-14-4. 「VLDOF+CR,LF」 (Video Loss Display Off)

ビデオ ロスの表示設定を【OFF】にします。

2-2-14-5. 「VLDON+CR,LF」 (Video Loss Display On)

ビデオ ロスの表示設定を【ON】にします。

2-2-14-6. 「VLSOOF+CR,LF」 (Video Loss Signal Out Off)

ビデオ ロスの信号出力設定を【OFF】にします。

2-2-14-7. 「VLSOON+CR,LF」 (Video Loss Signal Out On)

ビデオ ロスの信号出力設定を【ON】にします。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

「E 0+CR,LF」	Framing error
「E 1+CR,LF」	Parity error
「E 2+CR,LF」	Overrun error
「E 3+CR,LF」	Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「RAD+CR,LF」 (Read Alarm Display)

「ALARM」文字表示の設定を返します。

「ADOF+CR,LF」	表示 OFF
「ADON+CR,LF」	表示 ON

3-2-1-2.「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

アラーム保持時間の設定を返します。

「ADT 0 0 3+CR,LF」～「ADT 9 9 9+CR,LF」	3～999 秒
-------------------------------------	---------

3-2-1-3.「RAM+CR,LF」 (Read Alarm Mode)

アラーム モードの設定を返します。

「AME+CR,LF」	External (外部)
「AMI+CR,LF」	Internal (内部)

3-2-1-4.「RAP+CR,LF」 (Read Alarm Polarity)

アラーム入力極性の設定を返します。

「APB+CR,LF」	ブレイク (Break)
「APM+CR,LF」	メーク (Make)

3-2-1-5.「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

アラーム リターンの設定を返します。

「AROF+CR,LF」	OFF
「ARON+CR,LF」	ON

3-2-2.ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

3-2-2-1.「RBL+CR,LF」 (Read Border Line)

分割画面の境界線の設定を返します。

「BLB+CR,LF」	黒色
「BLG+CR,LF」	灰色
「BLO+CR,LF」	無し
「BLW+CR,LF」	白色

3-2-3.現在のモード

3-2-3-1.「RM+CR,LF」 (Read Mode)

SMV-401 の現在の状態を返します。

「CAS+CR,LF」	オートシーケンスで動作中
「D 2+CR,LF」 or 「D 4+CR,LF」	2 or 4 分割画面
「S 0 1+CR,LF」～「S 0 4+CR,LF」	単画面カメラ ch.
「A 0 1+CR,LF」～「A 0 4+CR,LF」	Alarm 保持中 ch.
「MENU+CR,LF」	Menu 表示中

3-2-4.自動切換え時間

3-2-4-1.「RCASTD+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Division screen)

分割画面の自動切替えモードの時間設定を返します。

「CASTDnn+CR,LF」

3-2-4-2.「RCASTM+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Mix)

自動切替えモードの時間設定をまとめて返します。

「CASTMnnnnnnnnnn+CR,LF」

3-2-4-3.「RCASTS+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Single screen)

単画面の自動切替えモードの時間設定をまとめて返します。

「CASTSnnnnnnnnnn+CR,LF」

3-2-4-4.「RCASTS01+CR,LF」～「RCASTS04+CR,LF」

(Read Camera Auto Sequence Time Single screen ch. 1～4)

単画面の自動切替えモードの時間設定を個別に返します。

「CASTS0100+CR,LF」～「CASTS0499+CR,LF」

3-2-5.コネクタ入力

3-2-5-1.「RCI+CR,LF」 (Read Connector In)

端子台入力の設定を返します。

「CIA+CR,LF」 アラーム

「CIR+CR,LF」 リモート

3-2-6.タイトル関連

3-2-6-1.「RCT01+CR,LF」～「RCT04+CR,LF」 (Read Character Title ch.01～ch.04)

各チャンネルのタイトル設定を返します。

「CT01*****+CR,LF」～「CT04*****+CR,LF」

3-2-6-2.「RCTDD+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen)

分割画面時のタイトル設定を返します。

「CTDDOF+CR,LF」, 「CTDDON+CR,LF」

3-2-6-3.「RCTDS+CR,LF」 (Read Character Title Display Single screen)

単画面時のタイトル設定を返します。

「CTDSOF+CR,LF」, 「CTDS ON+CR,LF」

3-2-6-4.「RCTPX+CR,LF」 (Read Character Title Position X)

単画面時の全チャンネルのタイトル位置 X 座標設定を返します。

「CTPXnnnnnnnnn+CR,LF」

3-2-6-5.「RCTPX01+CR,LF」～「RCTPX04+CR,LF」

(Read Character Title Position X ch.01～ch.04)

単画面時の各チャンネルのタイトル位置 X 座標設定を返します。

「CTPX0100+CR,LF」～「CTPX0422+CR,LF」

3-2-6-6.「RCTPY+CR,LF」 (Read Character Title Position Y)

単画面時の全チャンネルのタイトル位置 Y 座標設定を返します。

「CTPYnnnnnnnnn+CR,LF」

3-2-6-7. 「RCTPY01+CR,LF」～「RCTPY04+CR,LF」

(Read Character Title Position Y ch.01～ch.04)

単画面時の各チャンネルのタイトル位置Y座標儒の設定を返します。

「CTPY0102+CR,LF」～「CTPY0415+CR,LF」

3-2-7. 日付,時刻

3-2-7-1. 「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

SMV-401 の日付&時刻を返します。

「yyyy. mm. dd hh:MM:ss+CR,LF」

yyyy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-8. 日付,時刻表示

3-2-8-1. 「RTSD+CR,LF」 (Read Time Signal Display)

時刻表示の設定を返します。

「TSDOF+CR,LF」 【OFF】

「TSDON+CR,LF」 【ON】

3-2-8-2. 「RTSDR+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)

時刻表示のレンジ設定を返します。

「TSDR1+CR,LF」～「TSDR8+CR,LF」

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

3-2-9. 分割画面選択

3-2-9-1. 「RDSS+CR,LF」 (Read Division Screen Select)

分割画面の画面選択の設定を返します。

「DSS2+CR,LF」 2分割

「DSS4+CR,LF」 4分割

3-2-10. ボタン ロック

3-2-10-1. 「RL+CR,LF」 (Read Lock condition)

ボタン ロックの状態を返します。

「LOF+CR,LF」 ロック OFF

「LON+CR,LF」 ロック ON

3-2-11. OSD 表示位置微調整

3-2-11-1. 「ROOH+CR,LF」 (Read OSD Offset Horizontal)

OSD 表示の水平方向の微調整値を返します。

「OOH00+CR,LF」～「OOH15+CR,LF」

3-2-12-2. 「ROOV+CR,LF」 (Read OSD Offset Vertical)

OSD 表示の垂直方向の微調整値を返します。

「OOV 0 0+CR,LF」～「OOV 1 5+CR,LF」

3-2-12. 電源投入時の画面設定

3-2-12-1. 「RPOS+CR,LF」 (Read Power On Screen)

電源投入時の画面設定を返します。

「POSCAS+CR,LF」 自動切換え

「POSD+CR,LF」 分割画面

「POSS 0 1+CR,LF」～「POSS 0 4+CR,LF」 単画面

3-2-13 分割画面ランダム配置

3-2-13-1. 「RSPD 2+CR,LF」 (Read Screen Placement Division Div.2)

2 分割のチャンネル配置設定を返します。

「SPD 2 n n n n+CR,LF」

n n はチャンネルで【0 1】～【0 4】です。

3-2-14. ビデオ・ロス

3-2-14-1. 「RVL+CR,LF」 (Read Video Loss detection ch.01～04)

ビデオ・ロスの全設定を返します。

「VLo o o o+CR,LF」

o は、「F」OFF, 「N」ON です。

3-2-14-2. 「RVL 0 1+CR,LF」～「RVL 0 4+CR,LF」 (Read Video Loss detection ch.01～04)

ビデオ・ロスの個別設定を返します。

「VL 0 1 OF+CR,LF」～「VL 0 4 ON+CR,LF」

3-2-14-3. 「RVLD+CR,LF」 (Read Video Loss Display)

ビデオ・ロスの表示設定を返します。

「VLDOF+CR,LF」 OFF

「VLDON+CR,LF」 ON

3-2-14-4. 「RVLSO+CR,LF」 (Read Video Loss Signal Out)

ビデオ・ロスの信号出力設定を返します。

「VLSOOF+CR,LF」 OFF

「VLSOON+CR,LF」 ON

3-2-15. バージョン情報

3-2-15-1. 「RVN+CR,LF」 (Read Version Number)

ファームウェアのバージョン ナンバーを返します。

「VN n. n n+CR,LF」 n は数値です。

4. ご注意

Command の発行と同時に SMV-401 のフロントスイッチを操作、またはリモート操作を行いますと誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 100mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

CT Command の発行を連続で行う場合 500mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5. 変更履歴

2012.08.31 初版

2014.10.21 「2-2-6-1」 「C T」 コマンドに例外キャラクタに関する記述を追加。

2017.07.19 「2-2-6-1」 “Character” 誤字修正

2017.11.13 ASCII Code 表 ‘ー’ 02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02DH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH